

CONTENTS

●特集 1

日米貿易協定に係る食肉・食肉加工品の動きについて

●特集 2

日米貿易協定締結後の動向について

—アメリカン・ポーク、ビーフの日本への輸出は、大幅アップを見込む—

●窓

第51回 銀河フーズ株式会社

代表取締役社長 金澤 俊司氏 「修羅場を経験し多くを学ぶ」

●業界をめぐる動き

- ・1月役員会の開催について
- ・4団体合同新年賀詞交歓会について
- ・第8回お肉検定試験結果の概要
- ・支部だより～四国支部だより～
- ・「美味しい減塩」～食と健康について食品事業者の役割を考える～
—食の安全・安心財団が意見交換会を開催—
- ・食肉科研 (KAKEN) コラム #55

●ひろば

第49回 大阿蘇ハム株式会社

●海外情報

【中国】備蓄豚肉を相次いで放出



特集をちょっと読み



SPECIAL
EDITION

特集 1

日米貿易協定に係る食肉・食肉加工品の動きについて

大倉 達洋 農林水産省 生産局 畜産部 食肉鶏卵課 食肉需給対策室 課長補佐 (食肉需給班担当)

1. はじめに

2020年1月1日、日米貿易協定が発効した。日米両国の経済は世界のGDPの約3割を占めており、この日米貿易協定の発効により、既に発効しているTPP11及び日EU・EPAと併せて、世界経済の約6割をカバーする経済圏が誕生したことになる。一昨年末のTPP11発効、昨年2月の日EU・EPAの発効を背景として、昨年4月以降、5ヶ月にわたる交渉が行われ、短期に決着がみられた。

経緯としては、2018年9月に公表された日米共同声明に

おいて、日米両国が物品貿易に関する交渉を開始する考えを示した上で、日本側の農林水産品については、「過去の経済連携協定で約束した市場アクセスの譲許内容が最大限であること。」との考え方が示された。この考え方に沿って交渉が行われ、昨年9月の日米首脳会談で最終合意を確認、10月7日 (米国時間) にワシントンDCで署名、12月4日に国会の承認を経て、本年1月1日に発効に至った。

続きは定期購読で!

定期購読のお問い合わせ

一般社団法人日本食肉加工協会 日本ハム・ソーセージ工業協同組合 総務部

TEL : 03-3444-1211 FAX : 03-3441-8287 E-mail : ask@hamukumi.or.jp